

2024年10月 聖隷三方原病院

ベテルてんかんセンター 設立

当院のてんかん治療は、2023年1月より現院長山本貴道医師が副院長で当院へ赴任しててんかん外来、長時間脳波モニタリング、てんかん外科手術を開始しました。その後、2024年1月に「てんかん・機能神経外科」を設立、山添医師が部長に就任しました。そして2024年10月多職種連携の「ベテルてんかんセンター」を設立します。

「日本てんかん学会認定研修施設」認定施設／「日本臨床神経生理学会 教育施設認定」申請中

◆ センター長紹介



ベテルてんかんセンター長 兼 てんかん・機能神経外科部長

山添 知宏（ヤマゾエ トモヒロ） 三重大学 2004年

<認定資格>

日本脳神経外科学会／日本専門医機構脳神経外科専門医 日本てんかん学会専門医・専門医指導医
日本臨床神経生理学会専門医（脳波分野：EEG） 日本臨床神経生理学会認定医（術中脳脊髄モニタリング）
日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医

てんかんは1000人に5－8人と稀な病気ではありません。抗てんかん薬1剤で発作消失がえられる方から、様々な内服薬を試しても発作消失に至らない方、てんかん発作と類似する心因性非てんかん発作（PNES）を有する方まで様々な病態があります。てんかん発作は全身痙攣のみならず、ボーッとするような意識減損発作もあり、QOLを低下させます。このようなQOL低下がみられるてんかん患者さんへ治療・福祉サービス利用の助言等を提供し、周辺施設・組織と連携し、てんかん患者への社会・生活支援のサポートを充実させていきます。

また、正しい知識と理解を深めていただくよう、周囲の施設・組織に啓発活動をしします。

今後、日本てんかん学会認定包括的てんかん専門医療施設認定を取得するため、てんかん診療支援コーディネーターの育成をし、さらに体制を整えていきます。

◆ 当院の強み

1. 複数診療科での連携診療

当センターは、てんかん・機能脳神経外科、脳神経外科、小児科、精神科で連携しています。

小児てんかんに対しては小児科での内科的治療、成人てんかん・薬剤抵抗性てんかんに対する外科治療はてんかん・機能脳神経外科（脳神経外科）で診療を行います。精神症状を合併するてんかんに対しては、精神科との併診で診療を行います。

2. 多職種連携でのてんかん患者さんへの支援

医療スタッフ（看護相談、医療福祉相談室など）からの医療福祉サービスに関するアドバイス等の提供体制を構築し、近隣医療機関とてんかん診療に対する連携を行うことを目標としています。

臨床検査技師は長時間脳波や術中モニタリング。リハビリスタッフは、言語能力評価や麻痺評価などを実施しており、様々な職種でカンファレンスを行っています。

今回の内容について貴社で取り上げていただけると幸いに存じます。

取材を希望される場合は、下記問い合わせ先担当者までご一報いただければ幸いです。

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>

【聖隷三方原病院 総合企画室】（静岡県浜松市中央区三方原町3453） 担当：鈴木

TEL：053-439-9048 / FAX：053-438-2971 / mail：tomomi@sis.seirei.or.jp